

拓心

切り拓け たくましい心で



教育目標「知慧と精神を磨き 技と力を鍛え 絆を結ぶ 中央共育」【一校一行】あいさつ

彦根市立中央中学校
令和2年3月14日号

挑み続ける心が自らの道を切り拓く

昨年中央中のプールに姿を現すようになったカルガモ。学校が賑わいを取り戻すまでの早朝の時間帯、プールサイドに並んだカルガモが入水し、しばらく遊泳した後、飛び立って行きます。その光景は、私たちにもほのぼのとする安心感を与えてくれます。どのようなきっかけでわが校のプールを選んでくれているのかわかりませんが、カルガモにとっても居心地のいい環境であったのだと思います。

いよいよ令和元年度（2019年度）も大詰めを迎えました。学校生活は4月からスタートを切り、3月で締めくくります。

みなさんにとってどのような一年間だったでしょうか。



3年生のみなさんは、本日、中学校生活と共に義務教育修了という大切な節目を迎えました。これから踏み出そうとしている一歩は人それぞれ違います。仕事に就き、学校以上に厳しい社会へ踏み出す人、次の学校生活へ踏み出し自分の視野を広げようとする人など様々ですが、それぞれ自分が進むステージでさらに自分を磨き、鍛え、そして人との繋がりを築いていってくれることを願っています。

大切なのは、どの道に進むのかではなく、自分が進んだ道をどう生きていくかです。

2年生のみなさんは、すでに3年生への準備期間に入っています。1年後には今の3年生の先輩と同様、自分の進む道を決めていかなければなりません。言い訳をせず、人のせいにならず、自分が責任を持って自らの進路を決めていけるよう今からの中学校生活をさらに充実させてくれることを期待しています。



1年生のみなさんは、中学生となって早くも1年が経とうとしています。小学校6年生からのこの1年間は大きな生活リズムの変化とともに様々な成長があったのではないかと思います。静かな朝読書から一日が始まり、授業や給食の時間すべてにおいてメリハリのある学校生活を送れていたと思います。中堅学年となる2年生は今まで以上に活躍の場面が多くなっていきます。一つ階段を上った先輩としての活躍を期待しています。

みなさんには、これからも感謝の気持ちを大切にして、志高く前へ踏み出してくれることを期待しています。

保護者の皆様、地域の皆様 ありがとうございました

保護者の皆様、地域の皆様には日頃から何かと中央中学校の教育活動にご理解、ご支援を賜りましてありがとうございます。令和元年度も年度末を迎え、まだまだ慌ただしい学校生活ではありますが、本日まで歩んで来られましたのは、皆様のお力添えのおかげであり、あらためて心より感謝申し上げます。

この一年間を振り返りますと、子どもたちはいろいろなことに挑戦し、失敗を繰り返しながらも成長していく場面が多く見られました。学習面での悩み、友達関係での悩み、そして成長段階において大人との関係がうまく築けない姿など子ども自身が頭では理解しながらも、素直に受けとめられず自らの内面と格闘していることも多々あったのではないかと思います。中学校の三年間は心身ともに成長の大きい時期であります。今後とも、一人ひとりの子どもが失敗をしながらもたくましく成長していきますよう引き続き皆様からの励ましやアドバイスをよろしくお願い致します。



Hikone-chuo J. H. S

卒業にあたって 『部落差別と向き合う』 3年生徒作品

「はーとふるメッセージ2019」 特選作文より

部落差別ときいて、私は「自分には関係ない」と心のどこかで思っていました。自分が住んでいる場所が部落でないの
にどうして部落差別について学ぶのだらうとも思いました。しかし、部落差別について考えたり、実際に結婚差別をされた
方のお話を聞いて、私の考え方は大きく変わりました。

部落差別は住んでいる地域だけで差別されることです。そして、差別する多くの人は部落差別について何の知識もな
いまま差別していることが学習を重ねることで初めて知ることができました。私が差別問題で特に印象に残ったのは、結
婚差別です。好きな相手が部落出身だと分かった途端、家族や親戚から反対されてしまって、その人の人柄まで決め
つけることは本当におかしいと思いました。部落出身だから・・・という考え方が今の社会にまだ残っていることをとても怖く
感じました。講師の方のお話の中にも親や家族に反対されたという話がありました。もし、私も同じような立場だったら、
どんなときでも自分の事を信じてくれる親が差別をしていたら、とても悲しいし、絶望してしまうと思います。講師の方はそ
れでも「差別はしてはいけない」と訴え続け、家族の考え方を変えることができたことは本当にすごいと思いました。

講師夫妻のお話の中で「誰でも差別をすることはある」という言葉が心に響きました。「私は絶対に差別をしない」と
思っていたけれど、誰かの言葉で差別をしてしまったり、将来、部落出身の人と出会うかもしれないと思うと、関係ないで
終わるのではなく、もっと自分の事として考えなければいけないと強く思いました。

部落差別について学ぶまで、差別をあまり身近なものに感じていなかったけれど、この「知らない」ということが差別に一
番つながるのではないかと考えるようになりました。そして、これからもし、差別をしている人やされている人に出会ったら、
それはいけないことだとはっきり言えるように中学校を卒業しても差別としっかり向き合っていきたいです。

中学校3年間では授業での学びの他に、人と人との関係性などいろいろな学びがあったと思います。その中で、これ
からも大切にしてほしいことは「人を尊重する」生き方を貫くということです。そのことを心に留め、安心できる中央中、安
心できる社会になるようお互いに自分を磨き、人との絆を結んでいきましょう。

3月~4月 の予定

一期一会 (いちごいちえ)

「あなたとこうして出会っているこの時間は、二度と巡っては来ないたった一度きりのものです。
だから、この一瞬を大切に思い、今出来る最高のおもてなしをしましょう」

9 (月)	10 (火) 県立高校 一般選抜	11 (水)	12 (木)	13 (金)	14 (土) 第37回 卒業証書授与式	15 (日)
16 (月) 振替休業日	17 (火) 県立高校入学 許可予定者発表	18 (水)	19 (木) 小学校卒業式	20 (金) 春分の日	21 (土)	22 (日)
23 (月) 県立高校二次選抜 学年別保護者会 (14:00~15:00)	24 (火)	25 (水) 県立高校二次選抜 発表 学年末休業	26 (木)	27 (金)	28 (土)	29 (日)
30 (月)	31 (火)	4/1 (水) 学年始め休業	2 (木)	3 (金)	4 (土)	5 (日)
6 (月)	7 (火)	8 (水)	9 (木) 着任式	10 (金) 第38回入学式 始業式	11 (土)	12 (日)

「力のある学校」 中央中の創造に向け みなさん 引き続きよろしくお祈りします！

